



## チリの落盤事故からの生還

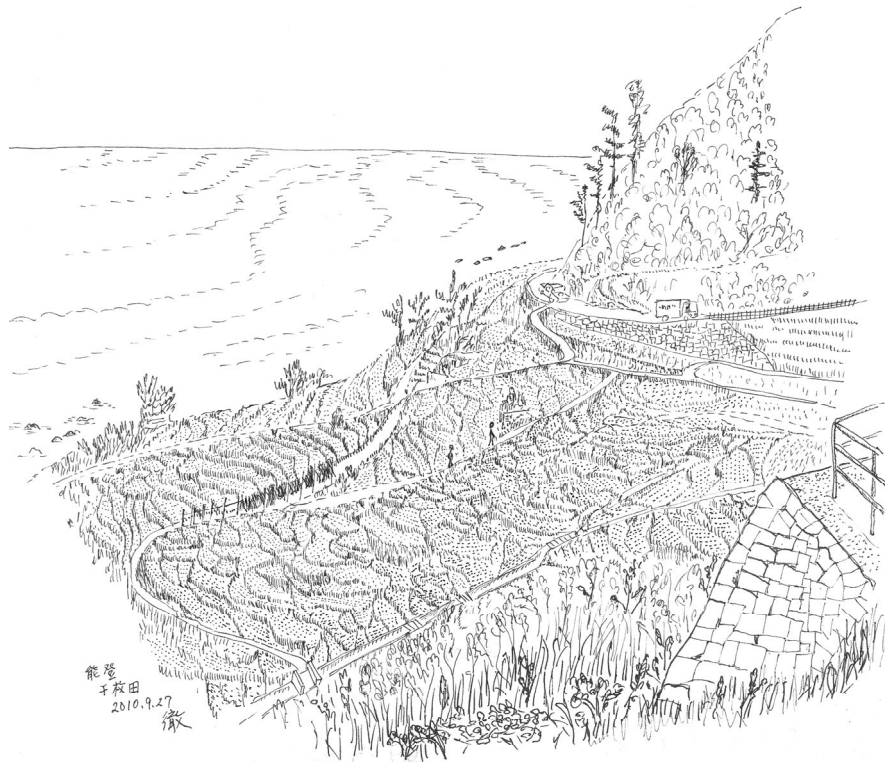
チリの落盤事故で地下600mに閉じこめられた33人の生還のニュースはほっとしますね。

南北に細長いチリの北端から四分の一位の所コピアポという町があります。その郊外のサンホセ鉱山という銅鉱山での事故でした。落盤事故の危険を労働組合が指摘していたのに、地下奥深くへのルートが一本しかなくて、それが落盤で塞がれて閉じこめられたのです。

日本の場合、600mもの地下では地下水が出て大変な筈です。佐渡の金山でも、水を汲み出す

のが大変だった由。この鉱山では地下水の問題は無かったのか？と心配しましたが、この辺りはステップ気候で、雨量は少なく地下水位は閉じこめられた所よりずっと低かったようです。

ともあれ、チリの政府、国民が一致団結して閉じこめられた人々の救出に奔走したことは、とても嬉しいことでした。国民に選ばれたアジヨンデ大統領を軍事クーデターで倒したピノチェット政権だったら、助けられたのだろうかと思います。



能登半島 千枚田

能登半島の北側の海岸は急峻な崖が続いています。その急な崖地に、一つが二畳もないような小さな田圃が沢山あります。千枚田です。急な崖で何とか米を作ろうとして田を作った先人の苦勞が忍ばれます。

「水田が地球を救う」と云う農林省のお役人だった方の書いた本があります。それによると・・・

雨量の少ない畑に灌漑をすると、取り敢えずは農作物は出来る。しかし、やがて地中の塩分が上昇してきて、塩害が生じ、畑として使えなくなる。アメリカでは塩害で多くの農地が使えなくなっている。しかし、水田の場合、上流から水が流れ、下流に流れるので、その水が肥料などで出来た塩分を洗い流す。だから、塩害にはならず、田は何時までも使える。又、田は水平だから、大雨が降っても土砂の流出もない・・・

この意味で、千枚田は国土を守る重要な役割をしている訳です。雨の少ないチリの鉱山の落盤事故からの生還、一方、日本は多量の雨を水田に生かして国土を守っている・・・と思いました。